

時の人・インタビュー

街と人を結んで40年!?トランペットから始まつた「ちんどん屋」人生。

「あの時、ちんどん屋のトランペットを聞いたばかりにねえ……」と笑う。開店やセールのお知らせといった、昔ながらのちんどん屋の仕事から、海外のイベントやドラマ出演なども。東西屋代表林幸治郎さんは、ちんどん業の枠にはまらず、国内外を飛び回っています。

谷町筋の一本東、空堀商店街から少し入った所にある事務所。その併まいがしっかりと街に馴染んでいます。開放されたガラス戸は街と人をつなぐちんどん屋を象徴しているようです。(聞き手:中田真弥子)

—先日は吉村大阪市長とのシカゴでのパレードが新聞などで話題になりました。

大阪の「御堂筋」とシカゴの「マグニフィセントマイル」との姉妹ストリート協定が結ばれ、その式典でシカゴの日本人会から招待されました。海外で裸貫から成功されている方って、関西出身が多いんですよ。

今回の海外公演は集成大成といふか、待遇も良くて、生きて良かったなと思いました。海外芸術祭や博覧会などこれまで何度も行きましたが、今日の宿もわからない、ということも多かったです(笑)。

メイドのコスプレをしてきた人もいたり、パレードの前には日本文化が

好きな人が集まつて、記念撮影に行列ができたり、シカゴの人たちにたいへん喜んでいただきました。

—普段はどんなお仕事が多いのでしょうか。

ちんどん屋は時代の波を映しています。

バブルの頃は郊外の大きなスーパーの売出しやイベントで忙しかったですね。二子山、長崎屋、ダイワ。全部なくなりましたか……。

そのあとはパソコンなどの家電量販店や携帯電話ショップなど。次に来る業種はなんかな? というのはありますね。

商品やお店の宣伝をしてくるわけですが、それとも我々は売るだけの営業マシンではない。そこには距離感、ちょっといい加減さが必要なんです。

例えば田舎に輸入車のショールーム



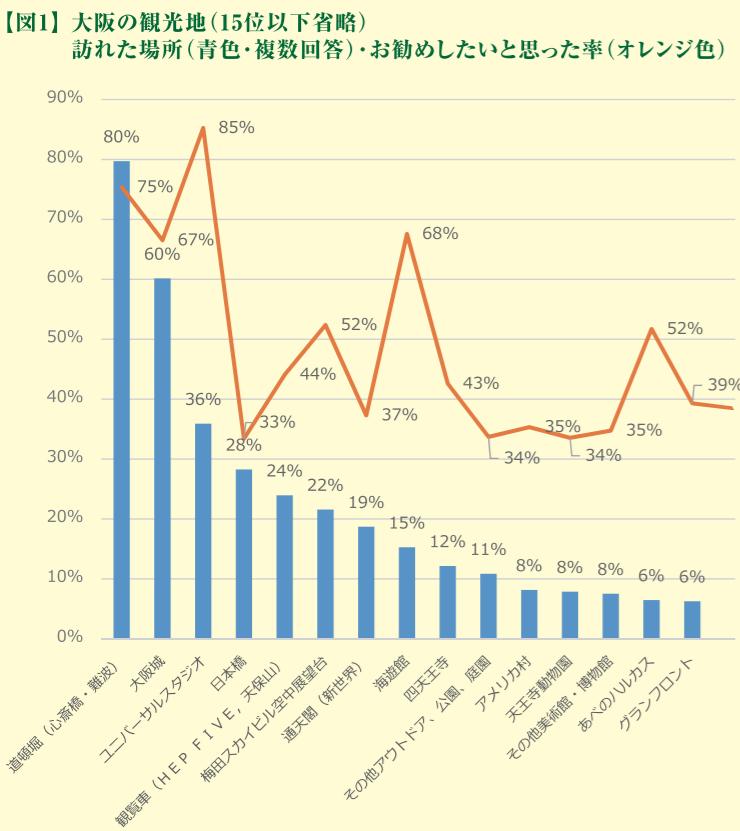
プロフィール

林 幸治郎 (はやし・こうじろう)
1956年生まれ。福岡市の金物問屋の三男として生まれる。立命館大学ではジャズ研究会に所属。太秦の下宿を通りかかったちんどん屋の音色に心惹かれ、ちんどん研究会を立ち上げると依頼が殺到、大学から注意されるほどの人気に。卒業後は大阪のちんどん屋「青空宣伝社」に入社。84年「ちんどん通信社」を旗揚げし、97年、有限会社「東西屋」を設立。

道頓堀
街づくり
情報

「訪れた場所」の第1位は道頓堀。

関西国際空港 外国人動向調査結果(平成29年度・大阪観光局)について



港、フィリピンが各5%、マレーシア、タイ、インドネシアが4%以下でした。訪問地に大阪を選んだ理由として、大阪の観光地が魅力的=45%、「大阪の食事が魅力的」=39%、「大阪のショッピングが魅力的」=35%が上位3位を占め、「京都、奈良などを回る拠点として」=23%もありました。

大阪の観光地として「訪れた場所」の1位は道頓堀(心斎橋・難波)=

80%で、大阪城=60%、JUSCO=36%

と続き、お勧めしたいと思った場所と

しても道頓堀(75%)、大阪城(67%)、

として、JUSCO(65%)と高い数値でした。(図1)

大阪での体験は、「買い物」「食事」が各43%で断然多く、着物・忍者・侍などの体験もの、まち歩きガイドツアーなどが続きます。(図2)

大阪に関する情報源としては、旅行前では、「旅

行ガイドブック」(37%)「テレビ番組」(36%)「親族・知人」(32%)「SNS」(29%)「ホームページ」「口コミ」「サイト」「個人のブログ」(図3)、到着後では、「旅行ガイドブック」(38%)「SNS」(36%)「親族・知人」「テレビ番組」と続き、どちらもガイドブックが多いが、到着後の情報収集はSNSが格段に高い数値でした。(図4)

ショッピングについて、大阪で買ったものとして、「ラーメン」「寿司」「たこ焼き」「うどん・そば」「天ぷら」「焼肉」「お好み焼き」などが上位を占めます。大阪の満足度を聞くと、90%以上が満足して

おり、50%の人人が必ず大阪へ再訪したい、44%

【図2】大阪で体験したこと(9位以下省略)

※複数回答

買い物 食事 何もしていない パー、バーバー、

【図3】大阪に関する情報源(複数回答) 旅行前

旅行ガイドブック 親族・知人 ホームページ SNS ロコモバイル カンパニー 個人のブログ 動画サイト テレビ番組 新聞・旅行雑誌 旅行会社パンフレット 特に無し

37% 32% 23% 29% 20% 12% 9% 12% 11% 4%

【図4】大阪に関する情報源(複数回答) 到着後

旅行ガイドブック 親族・知人 ホームページ SNS ロコモバイル カンパニー 個人のブログ 動画サイト テレビ番組 新聞・旅行雑誌 旅行会社パンフレット 特に無し

36% 26% 19% 36% 13% 9% 10% 24% 14% 8% 4%

人が大阪への再訪意欲がありました。
関西国際空港での観光客に限られますが、大阪の人気は高く、特に道頓堀を中心としたミナミに高いものがあります。また、食べ物、ショッピング、満足度など、予想されたことではあります
が、それを具体的に再確認した結果となりました。

▲衣装やちゃんまげに注目が集まつたそう。
撮影 上間明彦

▲ミナミの街でも活躍。

—さまざまな芸能との関わりや歴史についても研究されてますね。

元々は、平賀源内や樋口一葉などが「花鳥風月」を織り込んで書いたような美文を歌舞伎口調の口上で述べていた

ことが大事。オーダーメードなのです。
—さまざまなお仕事が多いのですが、それがちんどん屋の始まりですか。

—事務所を使ってのイベント「林幸治のちんどん芸能マニアックサロン」も人気だとか。
演奏と歌とトークをこの事務所の前で行なう。料金は2500円で、料金は3000円で、(天満天神歌舞亭)。前売り2500円で、当日3000円で、(花園治の会)にゲスト出演予定。

●花園治の会にゲスト出演予定

日時:7月24日(火)18時30分~

(天満天神歌舞亭)

料金:前売り2500円 当日3000円

(出演)桂花團治・桂文華・笑福亭綠

林幸治郎と歌声姉妹

▲屋根の看板が目印。

▲イベントには全国から人が集まるという。

俄(にわか)と云う、必ず駄洒落で才子オオチにしたものができるのです。明治20年頃に空堀界隈で人気があつた九里丸は、長い半纏を着て高下駄を履いたバフォーマンスをした人が、生き物もあったそうです。

落語家が口上をやつたり、ちんどん屋になつたりと、日本の大衆芸能とは関わりが深いのです。ちんどん屋の口上が上手い人が映画の弁士になつたり、トーキーになつてからは無声映画の弁士や樂士など様々な人がちんどん屋になつた。ちんどん屋との違ひは、最初から目の前に観客がいるわけではなくて、誰もいないところから、きっとどう存在のために音楽を奏でている。千客万来を願いながら、街々を練り歩き、その町の神さま、仏さまに芸能を奉納する、そんな思いもあります。

阪神大震災の後、焼野原での演奏の依頼がありました。そんな方には祈りを届けようとしていたのかもしれませんね。

スペースを使って行っています。もう40年